２０１３年１２月３日（火）　　第　１　号　　瓜幕中学校１年Ａ組

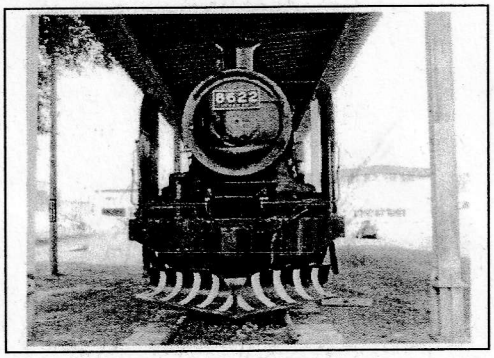
北海道拓殖鉄道　学習レポート

時は流れていく

北海道拓殖鉄道、それは、昭和２０年頃に北海道で利用されていた鉄道だった。しかし、自動車やトラック等の普及により昭和４３年に廃止、今ではもう、線路だったものが道路、畑、草木等になっている。

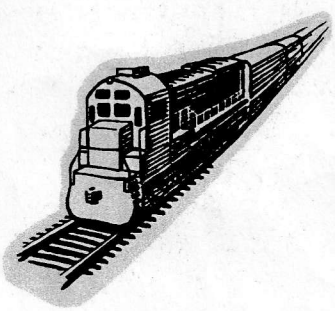
瓜幕中学校１年Ａ組は鹿追町と瓜幕地区の拓殖鉄道跡地を見に行った。瓜幕地区は道路、畑へと変わっており、最近できた瓜幕の公園では、瓜幕拓殖鉄道の記念碑が飾られていた。

鹿追町には拓殖鉄道跡地を見に行った。そこには、トンネルの跡や線路の跡があった。トンネルの奥へと行ってみたものの、そこには川が流れていただけだった。次に瓜幕中学校１年Ａ組は鹿追図書館２階にある郷土資料室へと足を踏み入れた。そこには、鹿追町拓殖鉄道に関する物が展示してあった。当時の拓殖鉄道８６２０系の写真や鉄道の付属品などがあり。昔の様子を知ることができた。



そして今がある

この北海道拓殖鉄道を学んで私は、地元の歴史を少しでも学べた。例えば、商店の堀川さんに聞いた瓜幕の歴史や鹿追の跡地探索、図書館の郷土資料室など鹿追にはたくさんの歴史について知ることの出来る場所・物がたくさんあった。拓鉄のことに詳しい、増田さんの話によると、「昔の人の苦労を知ることで今につなげられる」と言っていて私は「その通りだなぁ」と思った



あとがき

今回の拓鉄のことを学習レポートにまとめるのはすごく難しかった。特に難しかったのは今まで色々な情報を選びまとめることだ。「ここを伝えなければ情報をまとめることはできない。」という重要な情報が山ほどあったからだ。今回で分からなかったこと自分の家の近くを探したり、人に聞くなどをして情報を集めていきたい。